

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	北九州市小倉都心部における浸水対策の推進（防災・安全）緊急対策												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	北九州市												
計画の目標	近年多発する局所的集中豪雨や都市化に伴う浸水被害の増大に対し、河川改修により浸水対策を実施し、治水安全度の向上を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,441	A	3,441	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値	最終目標値 (H31末)
1	改修が必要な延長のうちの整備状況 改修が必要な延長のうちの整備済み（流下能力を確保した）延長	500m	m	1300m

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
「100mm/h安心プラン」（平成27年2月登録）対象区間												

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
河川事業	A03-001	河川	一般	北九州市	直接	北九州市	都市基 盤(1)	-	神嶽川(砂津川)都市基 盤河川改修事業	護岸、掘削(L=130m)	北九州市						1,278		-
	A03-002	河川	一般	北九州市	直接	北九州市	都市基 盤(1)	-	紫川都市基盤河川改修事 業	護岸、掘削(L=670m)	北九州市						2,163		-
												小計					3,441		
												合計					3,441		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
河川事業	C03-001	河川	一般	北九州市	直接	北九州市	都市基盤（1）	-	迅速な避難活動支援	防災情報をまとめたパンフの作成配布、大型ビジョンを活用した情報周知、円滑な避難を行うための非難経路確保対策	北九州市						0	-	
		避難情報の提供や非難経路の確保対策など、災害時における住民の円滑な避難活動の支援を行い、浸水被害の軽減を図る																	
	C03-002	河川	一般	北九州市	直接	北九州市	都市基盤（1）	-	ハザードマップ作成	ハザードマップ作成	北九州市							0	-
ハザードマップに避難場所、経路、浸水想定範囲を表示することにより、災害時における住民の適切な対応を促し、浸水被害の軽減を図る																			
C03-003	河川	一般	北九州市	直接	北九州市	都市基盤（1）	-	水防資材備蓄事業	水防資材備蓄倉庫の整備、水防資材の購入	北九州市							0	-	
																			水防資材（土のう等）を備蓄する倉庫を整備し、水防資材を備蓄することにより、災害発生時に緊急的な水防活動を支援し、浸水被害の軽減を図る
											小計							0	
											合計							0	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
【実施体制】 北九州市建設局河川部水環境課が事後評価を実施 【評価値の確認方法】 学識経験者に意見聴取を実施 (北九州市立大学 上田名誉教授、九州工業大学大学院工学研究院 寺町准教授)	令和3年度
	公表の方法
	北九州市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	本計画に位置付けた河川改修事業により、護岸整備や河道掘削が進んだことから、治水安全度が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画に位置付けた河川改修事業により、河川行政に対する市民の理解が深まるとともに、身近な河川への関心が高まり、愛着の醸成に寄与している。 ・その効果の一つとして、紫川では、近隣小学校や河川愛護団体、地域住民が主体となって構成されている「流域会議」において、河川愛護活動として清掃や除草が実施されている。 ・流域会議では、活動等の情報を流域住民に広く発信し、河川の魅力や楽しみ方、自然環境保全の重要性等について啓発・PRが行われている。 ・平成30年7月豪雨では、整備が完了した区間における溢水は発生しなかった。 ・なお、効果促進事業であるハザードマップ作成（洪水等）及び水防資材備蓄については他事業により実施したため、本計画の全体事業費が0となった。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・更なる治水安全度の向上を図る河川整備を着実に進める。 ・効果促進事業について、本計画の全体事業費は0となったものの、他事業によりハザードマップ作成等を実施している。近年、頻発化、激甚化する豪雨災害の状況から、今後もより深刻な災害の発生が懸念されるため、引き続きこれら関連事業の担当課と連携し、ソフト施策（警戒避難体制の整備、ハザードマップの作成・配布等）の充実を図る。 ・河川事業を着実に推進するためには、市民の関心・理解を得る必要があるため、関係機関や地域団体等との連携を深めるとともに、工事説明会等の機会において事業の必要性や効果等の周知を図る。 	

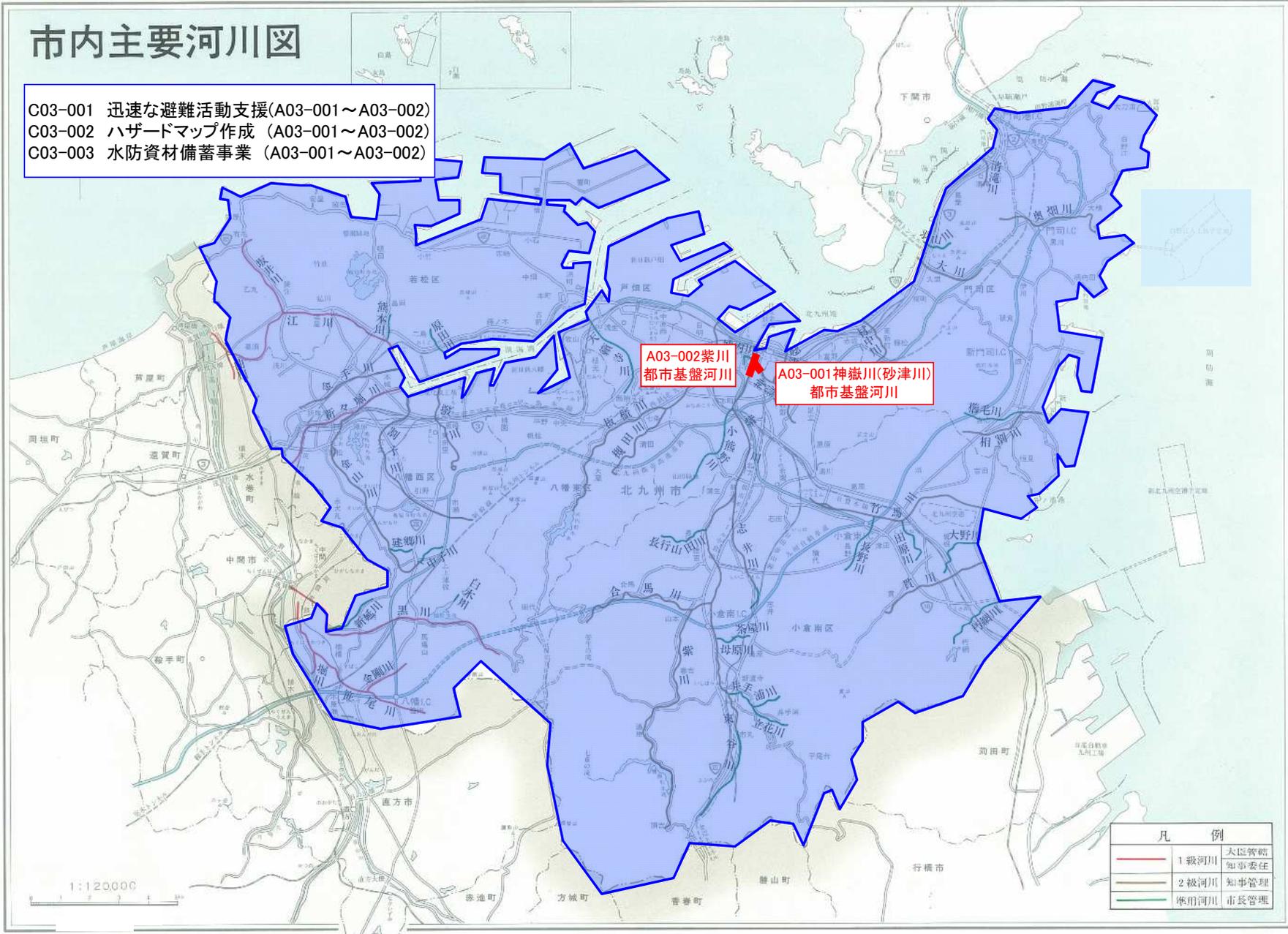
目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終 目標値	1300m	事業の実施にあたり、地元調整を円滑に進めるとともに、効率的に工事を執行したことにより、目標以上に整備を進めることができた。
	最終 実績値	1700m	

参考図面

計画の名称	北九州市小倉都心部における浸水対策の推進（防災・安全）緊急対策	
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）	交付団体 北九州市

市内主要河川図

- C03-001 迅速な避難活動支援(A03-001～A03-002)
- C03-002 ハザードマップ作成 (A03-001～A03-002)
- C03-003 水防資材備蓄事業 (A03-001～A03-002)



凡 例	
—	1級河川 大臣管轄 知事委任
—	2級河川 知事管理
—	準用河川 市長管理